

平成30年度 学校経営計画

1 学校教育目標

「勤労」「自治」「向上」の校訓のもと、知・徳・体の調和のとれた健康な心身と情操豊かな人間の育成を目指すとともに、総合学科としての特色を生かし、きめ細かな指導で生徒一人ひとりの能力を伸ばし、地域社会の未来を担う有為な人材を育成する。

2 学校の特色

本校は6分野（①人文国際、②自然科学、③福祉健康、④情報ビジネス、⑤グリーン、⑥スポーツ科学）の教育課程編成を有する総合学科として、それぞれの分野の特徴を伸張すると共に、生徒の興味・関心や進路に応じた学習を実現し、個性と能力を伸ばす教育を目指している。

- (1) 進路学習・キャリア教育の重視……1年次の「産業社会と人間」、2年次からの「分野別の選択科目学習」、3年次の「課題研究」を軸に、キャリア教育に関する学習の機会を図っている。3年間を通じてライフプランを明確にしなが、進路実現と自立のための学習を進めている。
- (2) 多様な生徒の進路希望に対応……大学進学から就職まで、幅広い進路希望を実現するために入学試験に対応する演習科目、資格・検定取得を目指す実技科目を数多く設定している。また、特に就職や専門学校等への進学を希望する生徒には、2年次で充実したインターンシップの実施により、社会の一員としての自覚を持たせ、職業観の醸成を図っている。
- (3) 規律と秩序のある校風の確立……基本的生活習慣を確立し、本校教育目標の実現を図る。特にあいさつの励行、身なりを整える、時間の厳守、清掃の徹底など、生きいきとした学校生活を送れるように、生徒と全職員が一体となって規律ある校風づくりに取り組んでいる。また、生徒会の自主的な活動への支援や部活動の1年次全員加入制を取り入れ、学校の活性化を図っている。
- (4) 地域との連携……上市町商工会や上市町社会福祉協議会の協力を得て、多くの生徒がボランティア活動やイベントに参加している。また、小学生との「ふれあい交流活動」も継続し、地域に開かれた学校としての活動を推進し評価を受けている。これらの活動を通して社会的モラルを身につけ、自己有用感を高めることで、生徒の自己向上力を育成している。

3 学校の現状と課題

多くの生徒は明るく素直で、教師の助言に耳を傾ける。反面、責任をもって最後まで成し遂げた達成感や、自分の活動が認められた経験が少ないため、自分に自信が持てない生徒も多い。また、進路学習・キャリア教育を重視しているが、自分のやりたいことがつかめず、目標を見失いがちになる生徒も見られる。全体指導と共に、一人ひとりの生徒の個性や実態に即した方法で個人面談を行い、励ましながら生徒の良い面を引き出す教育実践が重要となっている。また、明確な進路目標をもたせるため、地域、PTA、ハローワークなどとの連携を密にし、支援を受けられる体制を充実させたい。

学習面では、目指す生徒像の共通理解のもと、授業の質の向上が必要である。基礎学力が身につけていない生徒もあり、教科担当者の工夫も欠かせない。1年次の英語と数学では習熟度別学習を取り入れ、理解度が高まるよう工夫している。2年次からは6分野に分かれ、幅広い選択科目から興味や関心、進路希望に応じた科目選択をして学ぶことができる。3年次の課題研究では、テーマの設定から調査研究方法、まとめ方などを工夫し、最終的に成果を発表することでプレゼンテーション能力の向上にもつなげている。基本的事項を押さえた上で、生徒が主体的に学び続ける力をつけるため、アクティブラーニングの要素を取り入れた授業実践が更に必要となっている。

また、本校が継続的に取り組んでいる「ふるさと教育」を本校の特色の柱として育てていきたい。特別活動面での地域活動は定着しているが、各分野の学習や課題研究等を通じた地域貢献を提案する必要がある。「高校生介護等体験特別事業」の指定校や「魅力と活力ある学校づくり推進事業」による取り組みを有効に活用したい。